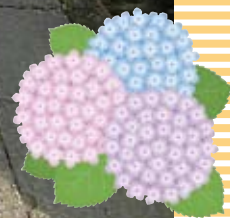


かながわの 交通

2017 7 月号

交通安全年間スローガン受賞作品 (内閣総理大臣賞)
一般部門 (A)

抱っこより
深い愛情
チャイルドシート



あじさい寺

(川崎市多摩区：妙楽寺)



二輪車運転気をつけて！

ヘルメットはもちろん、胸部プロテクター・エアバックを着装しましょう。

二輪車運転講習で「安全運転の知識と技能」を習得しましょう。

定期開催

神奈川県警察～セーフティライダー・スクール (SR)

二輪車普及安全協会～グッドライダーミーティング (GM)

警察本部・警察署では警察官を派遣して企業や学校などで講習会を開催しています。
問い合わせは(公財)神奈川県交通安全協会まで

二輪車事故
多発!!

◎県内の交通事故発生概況(平成29年6月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数
平成29年		13,420	67	15,805
平成28年		13,194	56	15,604
増減数		+227	+11	+168
増減率		+1.7	+19.6	+1.1

	総数	男	女
県人口	9,161,634	4,572,375	4,589,259
免許人口	5,619,206	3,228,848	2,390,358
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人

(県人口は平成29年6月1日、免許人口は平成29年5月末現在)

夏の交通事故防止運動

期 間 7月11日(火)～7月20日(木)の10日間

目 的 夏のレジャーなどに起因する過労運転や、夏特有の解放感による無謀運転などにより交通事故が多発することが懸念されることから、県民一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールへの遵守と交通マナーの向上に取り組むことを通じて、交通事故防止の徹底を図ります。



スローガン **安全は 心と時間の ゆとりから
交通ルールを守って 夏を楽しく安全に**

- 重 点**
- 1 過労運転・無謀運転の防止
 - 2 子どもと高齢者の交通事故防止
 - 3 自転車の交通事故防止
 - 4 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
 - 5 踏切の交通事故防止

二輪車事故防止強化月間の実施結果

6月中、神奈川県交通安全対策協議会が主唱して「運転に ゆとり やさしさ 思いやり」をスローガンに、二輪車事故防止と二輪運転者の交通安全意識を高める運動を県民総ぐるみで推進しました。各地区交通安全協会の取り組み、活動につきましては、本紙巻末にも一部紹介しています。

6月中及び6月末の二輪車の関係する事故は、発生件数、負傷者数はいずれも増加していますが、死者数は減少しています。

6月末現在の死者数の構成率は、昨年37%を超えていましたが、今年は20%を下回っています。



◎ 県内の二輪車事故発生状況(概数)

	6 月 中			6 月 末		
	発生件数	死者数	負傷者数	発生件数	死者数	負傷者数
平成29年	733	2	669	3,690	13	3,300
平成28年	588	5	514	3,684	21	3,272
増減数(率)	+145	-3	+155	+6	-8	+28
構 成 率	28.6	11.8	22.9	27.5	19.4	20.9

※ 構成率は全交通事故件数、全死者数、全負傷者数に占める二輪車事故の割合

第48回交通安全こども・第6回高齢者自転車神奈川県大会

第48回交通安全こども自転車神奈川県大会及び第6回交通安全高齢者自転車神奈川県大会が、7月1日(土)横浜市中区の横浜文化体育館で開催されました。

○こども大会

厚木市立清水小学校Aチームが優勝

こども自転車大会には、17チーム、68人の選手が参加、各チームは会場に到着後、9時から学科テストに臨みました。開会式では昨年の優勝校から優勝旗が返還され、県交通安全協会鈴木副会長、県警察本部鳴海交通部長の挨拶、来賓の紹介、審判長注意が行われた後、実技テスト(安全走行、技能走行)が開始されました。

大会の結果団体では、厚木市立清水小学校Aチーム(佐藤なつみ・6年、長谷川花江・6年、志水勇大・6年、井上夢来・6年の各選手)が優勝、個人では、横浜市内小田小学校の弘田桃子選手が見事総合優勝に輝きました。

優勝した清水小学校Aチームは、8月9日(水)に東京ビッグサイトで開催される「第52回交通安全子供自転車全国大会」に神奈川県代表として出場する予定です。

〔こども自転車大会の結果〕

●団体成績

優勝	厚木市立清水小学校A
第2位	横浜市内小田小学校
第3位	開成町立開成南小学校
第4位	厚木市立清水小学校B
第5位	三浦市立初声小学校
第6位	伊勢原市立比々多小学校

●個人成績(敬称略)

優勝	弘田桃子(横浜市内小田小学校)
第2位	佐藤なつみ(厚木市立清水小学校A)
第3位	長谷川花江(厚木市立清水小学校A)
第4位	志子田真優(開成町立開成南小学校)
第5位	石田野乃佳(横浜市内小田小学校)
第6位	高橋利里愛(開成町立開成南小学校)



(厚木チーム)

交通安全高齢者自転車神奈川県大会



(高齢者大会優勝チーム)



(こども大会優勝チーム)

○高齢者大会

厚木チームが優勝

こども大会の後に行われた安全走行と技能走行テストを一課題とする65歳以上(3人一組でチーム編成)の高齢者自転車大会には、10チーム30人の参加があり、厚木チーム(厚木警察署管内交通安全協会=中山優、亀井健次、原秀雄の各選手)が子どもチームとの訓練成果を発揮して、「おじいちゃん、がんばれ」などの声援を受けて昨年に続いて二連覇を飾りました。

〔高齢者自転車大会の結果〕

●団体成績

優勝	厚木チーム
第2位	中原Aチーム
第3位	金沢チーム



個人優勝 弘田桃子さん

～第8回評議員会・第22回理事会の開催～

6月19日午後2時から県協会会館において、第8回評議員会、引き続いて第22回理事会を開催しました。

評議員会では、板橋副会長挨拶、来賓として県警察本部 鳴海交通部長の挨拶、関口評議員長の挨拶に続いて「平成28年度神奈川県交通安全協会事業報告」、「平成28年度神奈川県交通安全協会決算報告」のほか、評議員等の改選について審議した結果、原案通り承認されました。



(第8回 評議員会)

【地区交通安全協会新会長紹介(敬称略)】



◎津久井
平栗 文夫
(平成29年5月26日付)



◎相模原北
井草 照夫
(平成29年5月26日付)



◎相模原南
鈴木 貴市
(平成29年5月27日付)



◎鶴 見
堀 晃一
(平成29年6月9日付)



◎伊勢佐木
野口 一平
(平成29年6月14日付)

平成30年使用
交通安全年間スローガン(標語)
募 集



● 募集期間 平成29年6月下旬～9月30日(土)(消印有効)

一般部門 A

運転者(同乗者を含む)へ呼びかけるもの(どなたでも応募可能)



- ① 交通ルールの遵守と運転マナーの向上(運転中のながらスマホ等の危険性など)
- ② 飲酒運転の根絶
- ③ 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用
- ④ 夕暮れ時の早め点灯の促進・夜間ハイビームの活用
※ 前照灯は、交通量の多い市街地を通行する時や、対向車と行き違う時、他の車の直後を行進している時以外は、上向き(ハイビーム)が適切とされています。歩行者との事故を防止するためです。
- ⑤ 高齢者の交通事故防止

一般部門 B

歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの(どなたでも応募可能)



- ① 交通ルールの遵守とマナーの向上(歩きスマホと自転車のヘッドホン・イヤホンの危険性等)
- ② 高齢者の交通安全(正しい横断など)
- ③ 自転車の安全利用の推進(自転車安全利用五則の徹底など)

こども部門



中学生以下へ交通安全を呼びかけるもの(中学生以下)

重点テーマは特に定めず、中学生以下へ交通安全を呼びかけるもの

※ 各部門とも、重点テーマに沿ったスローガンを作成してください。

送り先・お問い合わせ先

〒100-8051 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 毎日新聞社事業本部「交通安全年間スローガン」係
(☎03 (3212) 0190=平日10:30～17:00)

平成29年度交通安全ファミリー作文コンクール

家庭をはじめ、学校、職場、地域等において、交通安全について考え、話し合った内容や方法、その結果実行していること、また、これらを通じて思ったことや感じたことなどを作文に書いてご応募ください。

《応募期間》

平成29年6月20日(火)から9月10日(日)まで ※当日消印有効

《応募区分》①小学生の部 ②中学生の部 ③一般(高校生以上)の部

※ 賞、副賞、表彰、応募方法その他詳細については、下記までお問い合わせください。

《お問い合わせ先》

事務局～ (株)海風社内「交通安全ファミリー作文係」 ☎ 06 (6586) 6227
警察庁交通局交通企画課交通安全ファミリー作文コンクール担当 ☎ 03 (3581) 0141
<http://www.npa.go.jp/bureau/traffic/sakubun/index.html>
E-mail:sakubun@kaifusha.co.jp



地区交通安全協会事務長会議の開催

6月26日(月)県協会会館において、県内の各地区交通安全協会の事務長が一堂に会して「地区交通安全協会事務長会議」を開催しました。

会議では県交通安全協会の只野専務理事の挨拶に続いて、県協会事務局長から平成29年度の事業計画や各部の活動状況等について報告を行いました。県警察と県くらし安全交通課担当者からは交通事故概況その他連絡事項について説明がありました。



新人事務長紹介 ～よろしくお願いします～

田浦交通安全協会
伊勢田 克己 事務長

平成24年2月末に東芝ライテック株式会社を定年退職し、3月より嘱託として勤務、平成29年2月末延長満了となり、平成29年4月に田浦交通安全協会の事務長に就任しました伊勢田克己と申します。

現職当時は、田浦安全運転管理者会会長・田浦交通安全協会副会長として、田浦警察署管内の交通安全に取り組んでまいりました。

今後は、田浦交通安全協会の事務長の立場として、田浦交通安全協会の事業計画の趣旨である、交通事故のない社会生活を実現をするため、警察、県協会、市及び関係諸団体と連携を図り、各種施策を推進していきますので、皆様方のご協力を宜しくお願い致します。



TSマーク貼付推進優秀自転車安全整備店の表彰 (平成28年度中)

サイクルオリンピック…… 川崎鹿島田店、鶴見中央店、綱島樽町店、
東戸塚店、綱島店、平塚駅前店、今宿店
ダイワサイクル…………… 幸店、宮前店、相模原店
スポーク…………… 瀬谷店



点検整備に伴うTSマークの貼付推進を通じて、自転車の交通事故防止と被害者救済に貢献したTSマーク貼付推進優秀自転車安全整備店として、本県からは11店舗が選ばれました。

各店舗には県協会の菅原事務局長が赴いて、(公財)

日本交通管理技術協会からの感謝状と副賞を店長に伝達(写真)したところ、「受賞は励みになります。これからもTSマークの普及を通じて交通事故防止、補償等についてトアドバイスをしていきたい。」など受賞の喜びを語っていました。



(川崎鹿島田店)

交通事故の悲劇に学ぶ ④

●「運転者の責任」 建設業(18歳)

私は普通車の免許を取得したばかりでした。そして未成年でありながら酒を飲み、飲酒運転をしてしまい、私の運転する車に同乗していた友人2人の尊い命を奪ってしまいました。

その日、私は友人2人と私の自宅でお酒を飲んでいました。翌日は仕事が休みということで、お酒を飲んだあとはそのまま私の家に泊まる予定でした。途中で私は、他の友人を自宅に誘うために電話をしました。電話の友人は「今、隣の県にいる。」と言い、私は「今から行く。」と答えました。

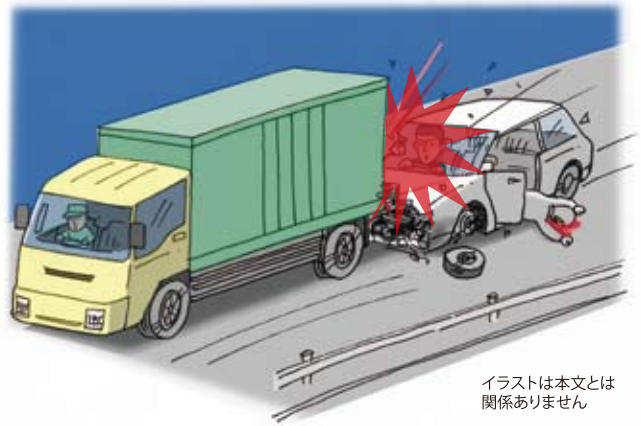
そして、事故を起こしてしまいました。事故現場までの記憶はほとんどなく、気が付いたら正面に大型トラックのコンテナが見え、ブレーキをかける間もなく激突しました。その後のことは、ほとんど覚えていません。気が付けば、私は救急車に乗っていました。救急隊の方に「友人2人は無事ですか。」と聞きましたが、その場では分かりませんでした。

事件後、半日ほど経ってから同乗していた2人が亡くなったことを知らされました。その時、私は自分が人の命を奪ってしまったこと、昨日一緒にいた友人とはもう二度と会えないことが信じられず、現実を受け入れることができませんでした。私のせいで起きた事故なのに私だけが生き残り、生きるべき人が亡くなったという事実に対し、何度も自分の行動を後悔しました。

しかし、ご遺族の方々は私以上に悔やみ、悲しみ、辛い思いをされていると思います。私のしたことはそれだけ重大で凶悪な交通犯罪だったのです。私は今回の事件により、多くの方を傷付けてしまいました。ご遺族の方だけでなく、被害者の方と関わりのある多くの方々、私自身の家族や職場の方にも大きな影響を及ぼしています。

交通犯罪は、自分だけでなく、多くの方々を不幸にします。亡くなった被害者の方は二度と生き返ることはありませんし、ご遺族の方々も大切な方々を失った悲しみを一生背負って生きていかなければなりません。加害者はこのことを忘れてはいけません。

私に下った判決は、自動車運転過失致死罪につき懲役3年以上4年以下でした。今も受刑生活を送っていますが、これまでの受刑生活で様々なことを学びました。交



イラストは本文とは関係ありません

通規則に対する考え、飲酒に対する考えなど、今まで深く考えることができなかったことを深く考えるようになりました。今後の受刑生活でも本件と向き合い、社会復帰後も過ちを反省し、自分で悩み考えながら償いをしていければと思っています

自動車を運転する人は、運転者としての責任を持たなければなりません。交通規則を厳守することはもちろん、安全にも十分に配慮しなければなりません。少しくらい、自分は大丈夫という安易な考えはしないで下さい。自動車はいつでも凶器へと変わり、事故を起こしてから後悔しても遅いのです。交通犯罪による被害者やご遺族、加害者を増やさないために、一人一人が命の尊さを知り、運転者は大勢の命がその手にかかっていることを自覚し、自分の行動に責任をもっていただくことが大切だと思います。

最後になりますが、新聞やニュースなどで飲酒運転による事故について取り上げられていることがあります。これを他人事だと思わないで下さい。自分は事故を起こさないという過信から事故は起こるのです。飲酒運転加害者は私を含めて多くの方が「酔っていないから大丈夫。」「自分は事故を起こさない。」という何の根拠もない過信によって人の命を奪っています。私は、このことをより多くの方に知っていただきたいと思っています。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行
「贖いの日々(第51集)」から～

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- 平塚信用金庫 ————— 平塚市紅谷町
- 平和交通(株) ————— 横浜市中区太田町
- (株)ジェイコム湘南 湘南局 ————— 藤沢市辻堂神台



(財)港北交通安全協会
代表理事 会長
しまむら たかし

嶋村 公さん

港北交通安全協会は、昭和42年4月に港北警察署が新設されたと同時に設立されました。平成22年4月に港北警察署が移設されたことを契機に警察署と隣接した場所に事務所を構え一般財団法人港北交通安全協会として、新たなスタートを切ることになりました。今年が、設立50年となる節目を迎え、港北警察署と交通安全に関わる諸団体と力を合わせ事故のない安全なまちづくりと交通安全活動に努めてまいります。

協会の嶋村公代表理事をご紹介します。平成28年5月より代表理事を務められていますが、嶋村尚美前代表理事のご子息であり、県議会議員を務めています。交通安全協会としての実績はありませんが、青少年指導員、消防団、町内会活動など幅広く地域活動に携わっており、近年は、防犯カメラの設置に関しても積極的に取り組まれています。特にドライブ

レコーダーの設置については、自ら10年近く使用し、交通安全に効果ある機器と設置促進を唱えています。今後は前代表理事が作り上げた各活動を協会役員の皆さんと共に更なる取り組みが期待されています。さて、港北区は、横浜市18区の中で最も人口が多い34万人を超える地域であり、新幹線新横浜駅を中心にJR横浜線、東急東横線、横浜市営地下鉄の主要駅を抱え、周辺には横浜国際総合競技場(日産スタジアム)、横浜アリーナなどの大規模施設が在ります。幹線道路は、綱島街道や環状2号線、横浜上麻生線が通っており、第3京浜港北インターと最近開通した、首都高速道路横浜北線等の道路網も充実した利便性の高い地域になっています。そうした状況下から自動車等交通量も多く、昼夜を問わず人口も多い地域です。また、小学校25校、中学校9校が在り、子どもの人口も増加している地域で

す。子どもたちに向けた交通安全教育にも力を入れ区役所と一体となり活動をしています。嶋村代表理事が就任し、1年が経過しますが、従来からの全国交通安全運動や小学校での交通安全教室、中学生に交通事故の怖さなどを教える教室等、これからも充実させていきます。新たな取り組みは、交通安全協会の活動を区民に知ってもらう事業として、広報紙を発刊しました。創刊にあたり、交通安全協会の年間活動を中心に紹介し、区内の自治会・町内会に回覧をお願いしました。また、日頃、交通安全に協力いただいている企業団体様も公表し、今後の活動につなげたいと思っています。現在100名あまりの役員の皆さんにも更に積極的な活動をお願いして、区内全域に交通安全活動を浸透していきたいと語っています。

(取材協力…港北交通安全協会)



こんにちは 「小田原交通安全協会」です

小田原交通安全協会は小田原市・箱根町・真鶴町・湯河原町の1市3町で高度経済成長時代の入り口で自動車が増加したことの対策の為、現行警察制度の発足と時を同じく昭和29年10月に小田原市長が発起人となり設立され、以来行政職の市長・副市長が当協会会長に就任してまいりましたが、平成20年度より54年間の慣例を変更し民間人を会長とすることになり副市長を退任された現在の青木正次氏に会長に就任いただきました。

さて、小田原警察署管内の概要は、交通網は国道1号線・国道255号線・国道138号線・国道135号線・西湘バイパス・小田原厚木道路・箱根新道・ターンパイクなどがあり、鉄道網は東海道線7駅・御殿場線は1駅・小田急線4駅・大雄山線5駅・箱根登山線10駅

があり全国でも珍しく27駅もあり特に鉄道網は大変充実し、国際観光都市の箱根や小田原城下町・真鶴・湯河原に県内外からの観光客はもちろん外国要人も大変多く訪れています。

それにともない、交通事故も多く、昭和30年からの死者数を見ますと毎年20人前後の方が亡くなり、特に昭和34年から47年の間は毎年40人～50数人の方々の尊い命が亡くなっていました。現在では平成20年より一桁で推移しておりますが、観光客はもちろんのこと高齢者事故や自転車事故を無くすためこれからも交通安全関係・各種交通安全関係団体の交通事故防止対策により、交通事故の減少と安心・安全な街づくりを目指して交通安全対策に積極的に取り組んでいかねばと常々心がけております。

また、皆様もご存知のとおり当管内は年頭に東京・箱根間大学駅伝競走が行われコースとしては全体の中で一番長いコースであり、コースの中



で最大の難所箱根山の上り下りがあり、関心が一番高いコースといわれていますので、年の初めから交通安全関係者は大変苦労しています。

終わりになりますが、平成16年度より小田原署は即日交付署となり、他管轄の更新者が現在大幅に増えているにも拘らず、他管轄の入会者は一割に満たない状況となっておりますので、皆様にご協力いただき少しでも入会率を上げたいと存じますので、ご協力をお願いします。

(川邊 記)

地区交通安全協会の活動紹介



伊勢原

警察署前で、地域交通安全活動推進委員らがのぼり旗を掲げ、「二輪運転者等に「二輪車事故防止」を呼びかけた。



座間

プロテクターを装着した署員らと共に、のぼり旗を掲げ、「二輪運転者等に「二輪車事故防止・暴走族追放」を呼びかけた。



山手

イオン本牧店前で、地域交通安全活動推進委員らがのぼり旗を掲げ、啓発物を配布して「暴走族追放・二輪車事故防止」を呼びかけた。



浦賀

国道134号線岡タクシー前で、地域交通安全活動推進委員らがのぼり旗やハンドフレットを掲げ、「二輪運転者等に「二輪車交通事故防止」を呼びかけた。



麻生

県道3号世田谷町田線で二輪車の街頭点検を実施、運転者等に啓発物や反射材を配布して「二輪車交通事故防止」を呼びかけた。

栄

地域交通安全活動推進委員や栄区交対協、母の会等と連携し、J・R本郷台駅前で「二輪車事故防止・暴走族追放」を呼びかけた。



海老名

海老名駅自由通路で、地域交通安全活動推進委員らがのぼり旗を掲げて「二輪車事故防止・暴走族追放」を呼びかけた。



南

観音通り商店街付近の鎌倉街道で、のぼり旗を掲げ、「暴走族追放・二輪車事故防止」を呼びかけた。



多摩

警察署前で、のぼり旗を掲げ、啓発物を配布して自転車や二輪運転者らに「二輪車と自転車の事故防止」を呼びかけた。



田浦

国道16号船越町交差点でのぼり旗を掲げ、通行する二輪車や車両等に啓発物を配布して「二輪車交通事故防止」を呼びかけた。



二輪車交通事故防止強化月間

インフォメーション

- 第50回二輪車安全運転全国大会 ————— 8月5日(土)、8月6日(日) 三重県鈴鹿サーキット
- 第52回交通安全子供自転車全国大会 ————— 8月9日(水) 東京ビッグサイト